

## 2023年度（令和5年度）学部入学式 学長訓示（2023年4月4日）

広島市立大学に入学された419名の入学生の皆さん、広島市立大学へのご入学おめでとうございます。広島市立大学を代表して、皆さんの入学を心より歓迎します。また、ご家族の皆さまにも、心よりお喜び申し上げます。広島市立大学の教職員および在学生にとりましても、新入生の皆様を本学に迎え入れることができましたことは大きな喜びとするところです。

広島市立大学は、「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」を建学の基本理念に掲げて、1994年（平成6年）に広島市が設置した公立大学です。本学は学生数が大学院生を含めて約2,000名の中規模大学ですが、国際学部、情報科学部、芸術学部というユニークな学部構成を持つ総合大学であり、約200名の専任教員による少人数教育を特色としています。

大学に入学した皆さんにはいろいろな希望や期待があると思います。しかしながら、「光陰矢の如し」という格言もあります。これから本学で学ぶ4年間は長いように思えて、過ぎ去ったのちに振り返れば実は短く感じるものかもしれません。そこで、私から皆さんに大学生活を有意義にするヒントをお話します。

最初は、学問についてです。皆さんは大学に何のために入学したのでしょうか。もちろん、大学入学の目的は人それぞれだと思います。将来の自分のために知識や技能を身に付けたい、という人もいるでしょうし、自分の未来はまだ不確定なので、自分の未来を探すために入学した、という人もいるでしょう。大学に入学した動機は何であれ、大学は「学問の場」ですので、学問を探求してほしいと思います。自分は研究者にはなるつもりはない、という人も、大学生になったからには、一生に一度くらいは、人類の知的財産である学問に真剣に取り組むことをお勧めします。学問を探求することで、これまで知らなかった新しい世界が目の前に広がります。

学問の探究の方法は、それぞれの学問分野において、詳細は異なりますが、どの学問分野においても、「知識・技能の習得」と「考える」ことが基本であることには変わりはありません。知識・技能の習得だけでは学問とはならず、また、「考える」つまり思考なくして学問の探究はありえません。古代中国の思想家である孔子は「学び」について、以下のように言っています。

「學びて思はざれば則ち罔（くら）し。思ひて學ばざれば則ち殆（あやう）し」

この格言における「思う」は「考える」という意味です。つまり、この孔子の格言は「教わるばかりで、自分で考えないと、真理はわからない。一方、自分で考えるだけで、人から学ばないと考えが偏って危険である。」という意味です。孔子が教えるように、学問の基本は「学ぶ」と「考える」です。「学ぶ」、「考える」を自らの習慣とすることができれば、人生はより豊かなものになります。是非、学問を探求してください。

次に、ヒロシマと平和について学んでほしいと思います。本学は建学の基本理念において、「世界平和と地域に貢献する国際的な大学」であることを掲げています。1945年8月6日に広島市で起こったことは人類が忘れてはならないことです。しかしながら、核兵器の非人道性はいまだに人類の共通認識になっておらず、ロシアによるウクライナ侵攻においては、ロシアは核兵器使用の可能性に言及しています。日本周辺においては、北朝鮮による核兵器開発も進んでいます。このような世界の状況において、「核兵器廃絶」の願いを世界に広めると共に、核兵器廃絶への道のりを明確にしていくことがヒロシマの課題です。広島で育った人も、広島以外で育った人も、広島市立大学で学ぶことになったのを機会として、平和について深く学び、平和に対してどう向き合っていくか、平和の構築に自分が何を貢献できるかを考えて下さい。

3つ目は専門分野に捉われない幅広い教養を身に付けてほしいということです。コンピュータとインターネットの進歩の結果、日々、情報の洪水の中で過ごしている人も多いと思います。そうした状況において、自分の人生を確かなものにしていくためには、何が正しいのか、自分の価値観に基づき、自分で判断することが求められます。

価値観を育て、判断力を磨くための最良の方法は本を読むことです。ネットに流れる不確かな情報に惑わされず、物事を深く考え、適切に判断する力は読書でしか育まれません。本学は「いちだい知のトライアスロン」という読書鑑賞、映画鑑賞、美術鑑賞を奨励する事業を行っていて、一定数の本、映画、美術展の鑑賞を行った人は「知の鉄人」として表彰しています。ぜひ、皆さんも「知の鉄人」を目指してがんばって下さい。

以上が私から皆さんへの大学生活を有意義にするためのヒントです。

本学はこの3年間、コロナ禍での教育の充実を図るため、ICT技術を活用した教育内容と教育方法の充実に全力で取り組んできました。こうしたコロナ禍でのオンライン教育の経験も踏まえて、本学は現在、教育のデジタルトランスフォーメーションに全学で取り組んでおり、皆さんへの教育をより質の高いものにしていく所存です。コロナ禍も収束しつつあり、クラブ等の課外活動団体の活動や、留学などの国際交流も、コロナ禍前に戻りつつあります。是非、これからの4年間、勉学に、課外活動に、そして、自分の夢の実現に、頑張ってください。本学は全力で皆さんをサポートします。

最後に、皆さんの広島市立大学での日々が実り多いものになることを祈念しまして、結びとします。本日は、ご入学、誠におめでとうございます。

2023年（令和5年）4月4日

公立大学法人広島市立大学 理事長・学長 若林 真一